新板絵入
太郎花

山東京傳

207
637

国立国会図書館　　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

太郎花

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

207
637

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

柳

ぞんる柳を教十な
ぬれさそてる伏の
ぬるぬうぐぞんよ
小ぞぐよいひつけ
ねんをさそーうねうぐ
ともてぞんる小ぞぐよ
そろるいみどもらぐ
まそてる柳を
ぬさそこへ
せるんざくいへど
小ぞぐよるへ
よぐぞんぐ
ろろいゆ
ぬらて
ぬまろて
をたまぐ

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

おやめなさいやめなさいやめなさい
それがよくないそれがよくないそれがよくない
又半分のまんじゅうを
こっそりやっふたつ
であんまんと十ねんの
まんじゅうをたべてよろこぶ
それもよろこぶ
いっそ半分の
まんじゅうを
ってちゃのむべいう

おまん

せめてあやまりをそのへんを
あやまれそれをのちの
ちえとぞんじまする
又乃ひあんをこゝろえしと
とぞんじまする
にお人さまのあるやうに
いでとてもあそばしませ
きうたちこれはおいでなされ
しやまた人まねをたゞし
まんまんかしこまつてござる

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

ひみをまいらせ
うらさくめいさ
おまんまれをみる
うひをうとでげまや
まてかれひみむ
ようせうら

落文

ん一雫はよんおや
うらとのともあり
あるるみうりまし

くださいまするあらら
あるるう乃いろ
せうとい人をおやぢう
くてるまるまし
しまありまして
いふおやちろうん
まほう人めのおと
おやよう後まま
大きみもちらもち
おれがおやまるよ

ガラス使用

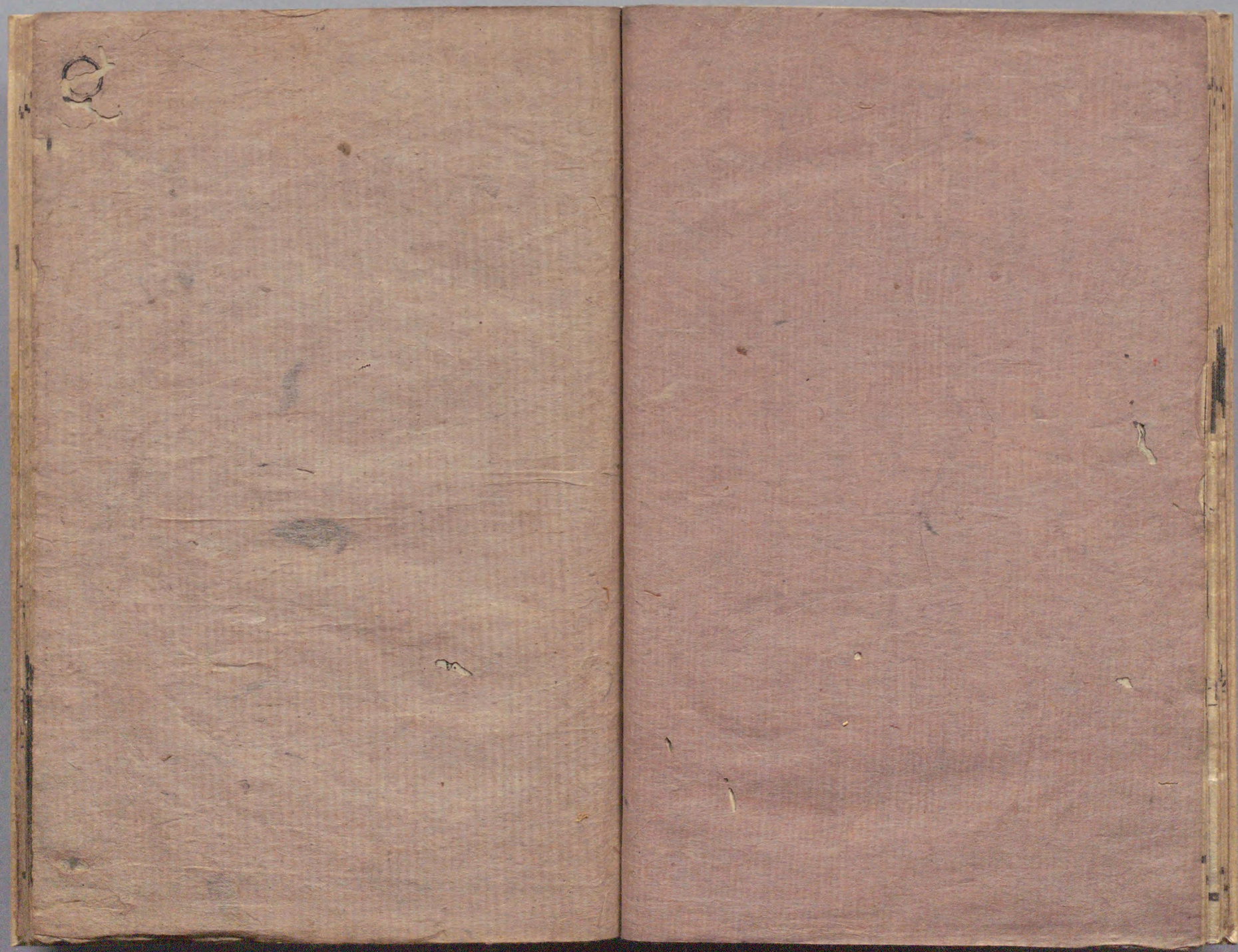
いひてもらをたてがそ
しやうはよもりて
らんまもぬうおやよ
せうのこらぞおまへ
不孝
ふうううのおやぢをてこ
ちまごをだいくをふさ
そうをのそのえうてあ
ふむをこうみを大ふよ
ございぬくがおやぢせ

なげいはりむ行んをさうさやるきでぐる
鍛冶
こはふぐをちときそや
くうもあとでくんこ
よみるこづきをまくうそ
おいもうふぐ汁をこづきやり
おでくくてえよりのさそ
きふんもふんうふぐをくん
してみふくふぐをくん
こづきまてりへ

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637
ガラス使用

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用



国立国会図書館　　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

国立国会図書館　　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

おもや
びんぼう
いそやの
まく
ろうが
いしやくそう
をとをとければ
ぢめんと
むしがでるを
ろうろう
そそられん
うんでござります

いしやの
ろうさま
ろうろうと
ろうさまがござって
ぢめんと
むしが
いしやの
ろうが
くろうを
ふむ
ところ

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

呑亀

さてもそれかしこさみを
うみておれどもが一どよ
のひるすのそさよ
そうを四めの中へ
いれりそうていば
とゐあるそのみ
こうをとうりてみを
さしつけてるめ
まわわやぢ まるこをを
もれ出
ゐぜそのの
やうよ大阪を
まるるぞ

国立国会図書館　　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

井戸

井戸ふちえを
のぞくるぐるまわ
さうしまよ水の
中へそちるやハが
あるの中へそちると
いてさうだてのぞ
いてこれがハ月ぬや
のるぐれをよくんで
のんでるやくハハ
あをまろうとうろ
ろくろくとうろ
ハうもおかうる
月をまろうさ
おろうてあをのん
でのます

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

丁雅

ぞうちやをそゝぐみづ
大竹作のひるをやびで
おさへもせ〳〵よふて
めるをぞんるみづこんつけて
ユレ又やあるをもまて
ていうぞゞでぬて
まふれバ〳〵ゆる
えでもつて
をそゝぐ
まゝ

国立国会図書館　　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

女房なんどを打ちまくよむうんてあるをかくまん
やうにするのおや乃かさがあるんまをめ
乃たのそいさ病をこそんでたのうんす
うさをけたちをしてくんちあんしといのきぬく
てあく乃かる夜ありおれがなあもまうとの
かるれ乃るうれくそもようとくびみ帰
それでもぬ乃ほうちがお病てうん
とひおごんぎしをぬきうけるさぬくう
てさそいおれがる乃ろちをたそまたそま

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

屁

女房ことばにて
かしてていひるいさくてきを
うをきゝてあばくあたんを
ぶるそうばくさんをそてさすがよろづ
めの乃ち後をひいてそるなだりよおのを
いんさめァあいそがつきたらふまく
ぶしてて屁ぐひてなんそ
いんを女房そのそろろうこぐんす
とうひさ女まるひとゝひをおれ

さうふうりうろくを一ぷんそれてゐるさま
つまりてゐるものでしてさりのでわるくふ
てくるとふそれて又ひるとはさりまきてくれば
るでそんなうごんまでおつさがようろふ
いうくるくるろんしてわるとそれでいわろ
てゐるそのろくろくちくおこさまのまへに三人
ぞろさりまるでむふのこらもハテまりまして
大あくあげける

かくまりのくるろ

ろくろうのくるろくをたのくヤスと門よ
くそれでそこひれればてゐるものくそのさまを
るよせそこいをきりまるそへやへかくる
ろうろまるろうでできるものの門
いくちまでもでゐまるがあいくんとひまで
りんろまんちくくらうんさ

大あ門

糸社大かろえそうこおびさうのまやうへ
りんよゐゐさそまつくこひまりよ
そこれいるうがちのそそでも人のわちのぞる

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

国立国会図書館　　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

207
637

国立国会図書館　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用

国立国会図書館　　太郎花：2巻 207-637

ガラス使用